年
 月
 日

 仕様書番号 HST-SS56-0200E

# 仕 様 書

内外半導電層押出型6600Vトリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル[記号: 6600V CVT(EE)]

住電HSTケーブル株式会社

### 1. 適用範囲

本仕様書は、電気設備技術基準に基づく題記電力用ケーブルに適用する。

関連規格 : JIS C 3606適合

## 2. 品名略号

6 6 0 0 V C V T (E E) ○ × □ S Q (線心数) (サイズ)

## 3. 構造及び材質

構造及び材質は次のとおりである。

3.1 導 体 : 電気用軟銅線の円形圧縮より線

最外層Sより。

3.2 絶縁体: 架橋ポリエチレン

導体部に接する部分には半導電層を施す。なお、半導電層の厚さは

絶縁体の厚さに含めるものとする。

平 均 厚 : 構造表の値の 90 % 以上 最 小 厚 : 構造表の値の 80 % 以上

外径許容差 : ±0.7 mm

3.3 外部半導電層: 絶縁体上に押出式による半導電層(フリーストリッピング型)を設けるものと

する。

3.4 遮 へ い : 厚さ約0.1mmの軟銅テープ1枚を、3.3 の線心の上に施した後、押えテープを施

す。

3.5 線心識別: 線心の適切な箇所に施す着色テープの色による。

3心: 白、赤、青とする。

3.6 シース: ビニル

平 均 厚 : 構造表の値の 90 % 以上 最 小 厚 : 構造表の値の 85 % 以上

色 : 黒

3.7 より合わせ: 単心ケーブル3条を層心径の30倍以下のピッチでSよりにより合わせる。

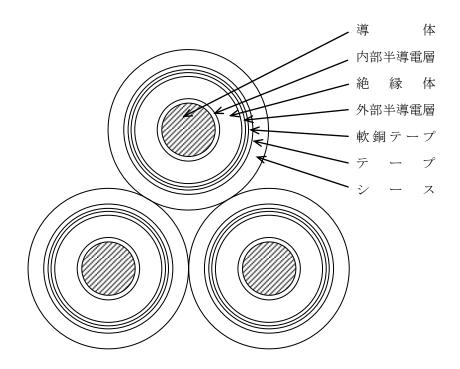
3.8 表 示 : ケーブルの適切な箇所に、下記事項を連続表示する。

(1) 記号(6600V CV(EE))

(2) ブランド名 (HS&T Cable)

(3) 製造業者名又はその略号

(4) 製造年(西暦年号) 又はその略号



## 4. 特性及び試験方法

			項					特性	試 験 方 法		
導	体	抵	抗					付表の値以下	JIS C 3005による		
耐	耐 電		圧					付表の電圧に10分間耐えること	JIS C 3005による		
絶	絶 縁 抵							付表の値以上	JIS C 3005による		
引	張		4 <i>h</i> .	縁	体	引張	強さ	10 MPa 以上			
			絶			伸	び	200% 以上	TTG G 0005)- 1 7		
			シ		ス	引張強さ		10 MPa 以上	JIS C 3005による		
			ン -	_		伸	び	120% 以上			
	熱		絶	縁	体	引張	強さ	加勒於の体の 00 0 11 1.	JIS C 3005による		
加						伸	び	加熱前の値の 80 % 以上	(120℃±3℃×96時間)		
			シ		ス	引張強さ		加熱前の値の 85 % 以上	JIS C 3005による		
						伸	び	加熱前の値の 80 % 以上	(100℃±2℃×48時間)		
±1	\L		3.		-	引張強さ		浸油前の値の 80 % 以上	JIS C 3005による		
耐	油		シ		ス	伸	び	浸油前の値の 60 % 以上	(70℃±2℃×4時間)		
加熱変			TT 2			絶 縁	体	厚さの減少率 40 % 以下	TTG (2.000F) = 1. 7		
			形			シース		厚さの減少率 50 % 以下	JIS C 3005による		
耐			寉			3/ 1/ 7	学験 下が神事 トゲバン ア	JIS C 3005による			
			寒			シース		試験片が破壊しないこと	(−15°C)		
難			444.					COTANI内で自然に辿らてこれ	JIS C 3005による		
			燃					60秒以内で自然に消えること	(60度傾斜試験)		

### 5. 受渡試験項目

完成品は下記試験を行う。

- (1) 構造試験
- (2) 導体抵抗試験
- (3) 絶縁抵抗試験
- (4) 耐電圧試験

## 6. その他

ケーブルグランド又はパッキン等の御使用の都合により、特定のケーブル外径公差を必要とされる場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

#### 取り扱い時の注意

- 1. 絶縁体上には押出式による外部半導電層を施してありますので、端末及び接続作業時の除去に際しては、絶縁体に傷をつけないように注意願います。
- 2. ケーブル内への水の浸入防止

ケーブル内に水が浸入した場合、絶縁性能が低下し寿命を短縮させる可能性があります。従ってケーブル布設中および保管中の端末防水処理、延線中の外傷防止、あるいは両端末や直線接続処理時の防水などに十分配慮願います。

3. 遮へい銅テープへの接地方式

遮へい銅テープの接地方式については種々の手段を講ずる必要がありますので、問い合わせ下さい。

- (注1) 片端接地とする場合は非接地側端に誘起する電圧を50V以下になるよう設計するのが一般的です。
- (注2)接地用リード線がはずれるなどして、遮へい銅テープがアースから浮いた場合、ケーブル事故に至る可能性があります。従ってリード線はしっかりと取り付けて下さい。

## 構 造 表 6600V CVT (EE)

	導 体		絶縁体	絶縁体	シース	線心	より合わ	導体抵抗	試験電圧	絶縁抵抗	静電容量	概算質量
公 称	構成	外 径	厚さ	外 径	厚さ	外 径	せ外径	(20°C)				
断面積						(約)	(約)				(参考)	
$\mathrm{mm}^{2}$	形状	mm	mm	mm	mm	mm	mm	$\Omega/\mathrm{km}$	kV/10分	MΩ·km	$\mu$ F/km	kg/km
22	円形圧縮	5. 5	4.0	13.5	2.0	19.5	42	0.849	17	2 500	0.27	1 600
38	円形圧縮	7.3	4.0	15.3	2. 1	22	46	0.491	17	2 000	0.32	2 200
60	円形圧縮	9.3	4.0	17.3	2.2	24	51	0.311	17	2 000	0.37	3 000
100	円形圧縮	12.0	4.0	20.0	2.4	27	58	0.187	17	1 500	0.45	4 300
150	円形圧縮	14.7	4.0	22.7	2.6	30	65	0.124	17	1 500	0.52	5 900
200	円形圧縮	17.0	4.5	26.0	2.8	34	73	0.0933	17	1 500	0.51	7 600
250	円形圧縮	19.0	4.5	28.0	3.0	36	78	0.0754	17	1 500	0.55	9 150
325	円形圧縮	21.7	4.5	30.7	3. 1	39	84	0.0579	17	1 500	0.61	11 500
400	円形圧縮	24. 1	4.5	33. 1	3.3	42	90	0.0471	17	1 000	0.68	14 000
500	円形圧縮	26.9	4.5	35.9	3. 5	45	97	0.0376	17	900	0.74	17 000
600	円形圧縮	29. 5	5.0	39.5	3. 7	49	106	0.0314	17	900	0.71	20 000